

授業概要

道徳とは何か。道徳を内在化するとはどのようなことか、またはそれは可能なのか？という根源的な問いを踏まえたうえで、道徳（教育）の歴史・現在・現場、地域での実践などを理解する。ディスカッションにより自分なりに理論を消化する。また、実際に道徳授業の実践をビデオ教材を使って研究する。学校の授業見学等、学外授業も取り入れ、指導案を作成し、模擬授業に取り組むなど、理論のみでなく実践も取り入れる。特別講師を招聘する可能性もある。

授業計画

第1回	道徳性の理論（1）語源から見る道徳
第2回	道徳性の理論（2）ピアジェ・コールバーグ理論
第3回	道徳教育の歴史
第4回	地域の道徳教育
第5回	体罰問題
第6回	生命倫理問題
第7回	学校現場での道徳教育（1）授業展開の工夫
第8回	学校現場での道徳教育（2）教材について
第9回	生徒指導
第10回	指導案作成の手順
第11回	学習指導要領
第12回	指導案の作成と教材研究
第13回	模擬授業体験（1）導入の工夫
第14回	模擬授業体験（2）展開の工夫
第15回	模擬授業体験（3）結末について
第16回	まとめ

到達目標

道徳理論の理解。道徳教育の思想と歴史を理解する。その上で、自分なりの道徳教育観を見出し、授業等実践に取り組めるようにする。道徳とは何かを自分なりに模索し続けていく態度を養う。

履修上の注意及び予習・復習

数回はディスカッションを取り入れます。自分なりに考え、積極的な受講態度を期待します。基本的に全回出席してください。レポーター制で、議論し、指導案の作成や模擬授業も行います。授業の3分の2以上の出席で評価の対象になります。

評価方法

試験50%、発表30%、授業態度20%

テキスト

プリントを配布します。